

関西、初上映！新作ドキュメンタリー映画

精神病院のない社会

映画「むかしMattoの町があった」は1980年までのイタリア精神保健改革の物語でした。
あれから37年経った今のイタリア、そして日本の現状を映像で追います。

日時

2017年10月28日（土）

13:30～16:30（開場13:00）

会場

エルおおさか南館5階南ホール

参加費

会員 500円 一般 1500円

内容

上映会 新作ドキュメンタリー映画
「精神病院のない社会」

講演

僕が映画を作った理由

監督 大熊一夫さん (K.Okuma)

ジャーナリスト

【略歴】

元朝日新聞記者、元大阪大学大学院教授。1970年に都内の私立精神病院にアルコール依存症を装って入院、『ルボ・精神病棟』を朝日新聞に連載。鉄格子の内側の虐待を白日のもとに。『ルボ・精神病棟』（朝日新聞社）、『精神病院を捨てたイタリア捨てない日本』（岩波書店）『精神病院はいらない！』（現代書館）など著書多数。2008年フランコ・バザーリア財団からバザーリア賞を授与される。

ドイツからみた日本の精神医療

カメラマン 西村きよしさん (K.Nishimura)

ジャーナリスト・研究者

【略歴】

滞独30年、ドイツ精神医学精神療法神経学会 (DGPPN) 会員、日本精神神経学会会員 (JSPN)、日本多文化間精神医学会 (JSTP) 会員、ドイツジャーナリスト連盟 (DJV) 会員。現在はドイツの映像単科大学で「映像の精神医学への応用」について研究中。

リレートーク

大阪から映画に出演した方々

事前申込要

申込方法は裏面です。



【写真】

映画「むかしMattoの町があった」の舞台になったゴリツィア県立精神病院の正門付近。今はバザーリア公園入り口。イタリア精神保健改革は56年前にここから始まりました。

主催

認定NPO大阪精神医療人権センター

Osaka Center for Mental Health and Human Rights

会場

エルおおさか南館5階 南ホール

大阪市中央区北浜3-14

電話06-6942-0001

<行き方>

- ・地下鉄谷町線「天満駅」2番出口
- ・京阪本線「天満橋」14番出口より西へ300m



お問合せ

認定NPO大阪精神医療人権センター

〒530-0047 大阪市北区西天満5-9-5 谷山ビル9F

TEL 06-6313-0056 FAX 06-6313-0058

お申し込み

先着順（定員200名）

定員になり次第、お申込みを締め切らせていただきます。

FAX 本チラシ裏面を参加申込書としてご利用ください。

Eメール 以下の内容を明記してお送りください。

インターネット

認定NPO大阪精神医療人権センターホームページの【おしらせ】にある講演会申込からお申し込みください。



こちらのQRコードからもお申込みいただけます。→

新作ドキュメンタリー映画「精神病院のない社会」上映会・講演会 参加申込書

1. お名前 ()
2. 当センターの 会員 / 非会員 (いずれかに○をお願いします)
3. 今後、当センターからのセミナー、講演会及び活動状況等の情報の送付を
希望する / 希望しない (いずれかに○をお願いします)
メールアドレス ()
4. 電話番号 ()
5. 申込完了の返信 メールアドレスかFAX番号
()

大阪精神医療人権センター
FAX：06-6313-0058
Eメール：advocacy@pearl.ocn.ne.jp

※申込FAX・メール、インターネット申込を送信された時点では、参加申込の受付は完了しておりません。
「参加受付票」という返信が届いた時点で申込完了となります。申込を送信後5日たっても申込完了のFAX又はメールが届かない場合は06-6313-0056までお問い合わせ下さい。